

精神症状

意欲の障害_1

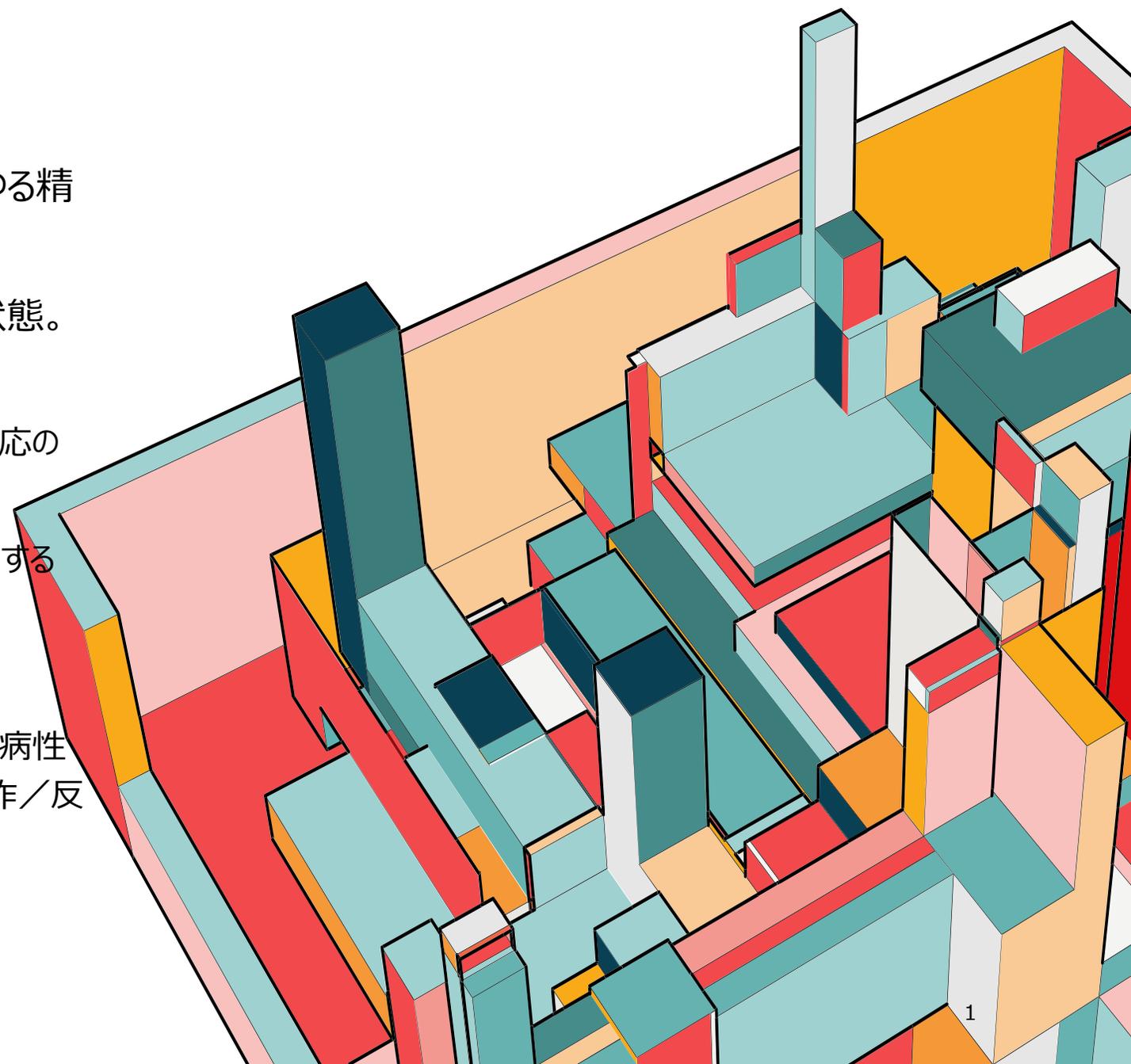
意欲：意志（欲動を統制する力）と欲動（あらゆる精神活動の源泉で、欲求・欲望・本能を含む）

・**精神運動興奮**：意志発動が著しく亢進している状態。
次の2つが代表的

（躁病性）**興奮**：爽快感を基盤とする多動・多弁で、一応の目的を持つ（躁病）

緊張病（統合失調症）性興奮：不安緊迫感を基盤とする多動で、了解不能のことが多い（統合失調症）

（参考）**緊張病症候群（緊張型統合失調症）**：緊張病性興奮、緊張病性昏迷、カタレプシー（蠟屈症）、反響動作／反響言語、常同症、拒絶症



精神症状

意欲の障害_2

・**意欲減退**：特に病的なものとしては以下の2つがある

無為：周囲への感情的反応や関心が乏しくなる状態

自閉：内面の主観世界に閉じこもり、現実への関心を失うこと（統合失調症の「無為自閉」）

昏迷（≠昏睡）：意志表出の欠如または極めて乏しい状態。意識は清明（統合失調症、うつ病 亜昏迷）

強迫行為：強迫観念が意思によって制御できなくなり行動化したもの（強迫性障害）

行為心迫：意志によって抑えきれない欲動が行動化したものだが、一応了解可能な行為（躁病）

